



『ありがとう』があふれるしずはまっ子

ありがとうのステージが始まり、一か月が過ぎました。

虹の会が「ありがとうの手紙」を、放送委員会が「ありがとうを伝えよう」の活動を始めました。自分のパートナーさんや、地域の方、ボランティアの方、色々な方にお世話になっていると感じた子供たちは、「ありがとう」の気持ちを伝えるために、虹の会が準備をしたはがきを使って思いを伝えたり、放送委員会が準備をしたありがとうメッセージをポストに入れたりしています。温かな空気が学校中に広まっています。とても気持ちのよい雰囲気です。学校でのこの活動が家庭、地域にも広まり、「ありがとう」があふれる大井川地区になったら、とても素敵なことだと思います。



校内では、6年生が卒業を迎えるにあたり、1年生から5年生まで、6年生に感謝の気持ちを伝え、笑顔いっぱい卒業してもらうための「6年生の卒業をお祝いする会」の企画を進めています。この会のリーダーは5年生。どんな会にしたいか6年生のために休み時間を使って話し合いをし、1年生から4年生に説明していました。5年生の思いを受け止めた下級生たちは、今、その準備を着々と進めています。学校のリーダーに感謝の気持ちを伝えたいという子供たちの思いと、5年生の企画に協力して笑顔いっぱいの会にしていこうとする下級生のフォローとして思いが毎日の子供たちの姿から感じ取ることができます。

当日もそして、これからも子供たちの「ありがとう」があふれることでしょう。



大谷グローブ贈呈式

本校にも大谷グローブが届き、贈呈式を行いました。虹の会の委員長の司会で進められた式では、校長先生から「大谷選手の思いを受けて、このグローブを使って、笑顔と元気と勇気をつなぎ、もっともっと明るい学校にしていきたいと思います。」の言葉とともに3つのグローブが子供たちに渡されました。代表の子供たちは大谷選手にお礼を伝えながら、キャッチボールを披露し、低学年からの歓声があがりました。



また、卒業を間近に控えた6年生からは、5年生に「大事に使うこと」、「楽しい学校にしていこうこと」を願いグローブを渡しました。受け取った5年生はその思いをつなげていくことを約束しました。グローブが子供たちの思いをつなげていました。この日同時に大井川野球少年団からボールの寄贈もありました。

現在、休み時間になると子供たちはキャッチボールを楽しんでいます。

コミュニティスクール進んでいます！

昨年度から始まったコミュニティスクール。本年度は、自治会長でいらっしゃる池谷均様にディレクターをお願いし、地域の力をお借りして、子供たちの教育活動を充実させる取組を進めています。池谷様の働きのおかげで昨年度より活動が広がっています。公民館や図書館で子供たちの作品を展示、地域の宝人による学習支援（生活科町探検、キャリア教育、書初め指導、交通安全リーダーと語る会、社会科学習、図工学習等）、読み聞かせ、あいさつ運動、見守り隊など紹介しきれないくらいたくさんの協力をいただきました。特に民生委員の方々には多くの協力をいただきました。

また、しずはまっ子の教育を語る会では、多くの方にご参加いただき、たくさんのご意見もいただくことができました。これからも子供たちのために皆さんのお力をお借りすることができれば幸いです。「ちょっと、学校の草でも取ってやろうかな。」「ちょっと子供たちの様子を見ようかな。」そんな感じで、学校に足を運んでみませんか。子供たちの生きる力が高まるよう、一緒に「共育」を進めていきましょう。よろしくお願いします。



お知らせ

本年度最後の授業参観・懇談会が以下の日程で行われます。地域の皆様にも子供たちの成長の様子を見ていただければ幸いです。ご都合がつくかたはぜひ、ご来校ください。

2月15日(木) 14:15～ 1,2,3年生

2月20日(火) 14:15～ 4,5,6年生